

ルーセントカラー

Lucent Color[®]

for wall

施工要領書



ヤブ原産業株式会社
YABUHARA Industry CO.,LTD

〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷 546

TEL 048-297-4111

1. 下地について

新設のコンクリートは 14 日間以上、モルタルは 7 日間以上の乾燥期間をおいてください。または含水率が 10% 未満になるまで乾燥させてください。

コンクリート下地の油脂類はシンナーなどで完全に脱脂してください。

塵埃、土砂などは清掃により除去してください。

下地のクラック・汚れ・補修跡等は、ルーセントカラーでは隠れずそのまま仕上がりに現れます。

下地によって仕上がりの色調や濃淡に差が出ます。吸い込みの多い下地ほど、着色性が良くなります。

樹脂モルタル下地は吸込みが悪いため、事前にテスト施工を行い仕上がりを確認してください。

2. 施工上の注意

気温 5℃以下、36℃以上、湿度 85%以上での施工は避けてください。

下地は十分に乾燥させてください。

トップコートは艶消し成分が沈殿しないように施工中も十分攪拌してください。

施工後 12 時間以上降雨や水濡れなど水分に合わないよう注意してください。

施工環境が高温や屋外の場合、トップコートの乾燥が早くなり塗布ムラ(塗り継ぎ等)が発生する可能性があります。

3. 使用する道具

ルーセントカラー for wall

手袋

バケツ

サンドペーパー

中毛ローラー(マイクロファイバーローラー推奨)

刷毛

エアレスまたはスプレーガン(吹付施工の場合)

養生材(必要に応じて)

4. 工程表

工程	材料名	使用量 ^{※1} (g/m ²)	施工器具	工程間隔 ^{※2} (時間)
清掃	—	—	サンドペーパー	—
下塗り	プライマー	80~ 100	ウールローラー ^{※4} 刷毛	1.0~
上塗り 1回目	トップコート + 専用トナー ^{※3}	25~30	ウールローラー ^{※4} 刷毛	0.5~ (指触乾燥後)
上塗り 2回目	トップコート + 専用トナー ^{※3}	25~30	ウールローラー ^{※4} 刷毛	0.5~ (指触乾燥後)
上塗り 3回目	トップコート + 専用トナー ^{※3}	25~30	ウールローラー ^{※4} 刷毛	12~

注：

※1 使用量は下地の状態によって大きく変動するため、新設で健全なコンクリート下地を研磨した時の目安となります

※2 次工程への養生時間は施工環境(温度、湿度、日射)によって変わるため、気温 23℃時の目安となります

※3 クリヤー仕様の場合はトナーは付属していません

※4 エアレスまたはスプレーガンでも施工可能です。

5. 施工方法

5-1 清掃

施工面にレイタンスや脆弱部分がある場合は、サンドペーパーを使用して、除去してください。

発生した粉塵は、刷毛等で清掃してください。

施工のポイント

サンドペーパーの番手： #150 を推奨



5-2 下塗り

プライマーをウールローラー、刷毛で 80～100g/m²を目安に 2 回に分けて塗布します。塗布間隔は15～30分です。

塗布後は1時間以上(23℃時)乾燥させます。

施工のポイント

下地に吸い込みムラがある場合は、再度プライマーを塗布してください。

プライマーの液だれがないように、ローラーを絞って丁寧に塗布してください。



5-3 上塗り (1 回目)

下塗りが乾燥したことを確認後、上塗りを行います。

トナー容器をよく攪拌し、沈殿している顔料を分散させます。(クリヤーの場合は不要です)

トップコートにトナーを投入してよく攪拌します。(クリヤーの場合もトップコートを攪拌します)

トナーを混合したトップコートをウールローラー、刷毛で 25～30 g/m²塗布します。

施工のポイント

塗布した箇所が乾いてから塗り重ねるとローラー跡が出やすいので、素早く塗布します。

1 回目は全体に薄く均一に色が付くように塗布してください。ローラー跡や塗り継ぎが発生した場合は 2 回目以降で調整可能です。

液だれをしないよう、よく絞ってから塗布してください。ローラーに含まれる材料が多いと、液だれしますので、その際は素早くローラーで吸い取ってください。

液だれが残ってしまった場合は、サンドペーパーなどで削り、再度トップコートを塗布してください。詳しくは「8. タッチアップについて」をご確認ください。

パールカラーなど色の薄いカラーは、塗布直後は発色しません。乾燥とともに徐々に発色しますので、規定量以上の塗布量にならないようご注意ください。



5-4 上塗り (2 回目・3 回目)

上塗り(1 回目)で残ったトップコートをウールローラー、刷毛で 25～30 g/m²塗布します。

1 回目と同様にローラーは液だれしないよう、よく絞って塗布します。

ローラーを縦・横・斜めとランダムに動かして塗り重ねて仕上がり調整します。

塗布後は 12 時間以上(23℃時)乾燥させます。



5-5 端部処理

端部の処理は最後に行います。

ローラー塗りを行った後に、同じ濃さになるように刷毛で仕上げます。

ローラーと同様に、刷毛をよく絞り、材料を含ませる量を少なめにして塗り重ねていきます。

塗布後は 12 時間以上 (23℃時) 乾燥させます。



施工のポイント

端部処理を先に行うと、ローラー塗りとの境目がくっきりと表れてしまうので、必ず最後に行ってください。

刷毛に材料を多く含ませるとダレる恐れがありますので、しっかり絞ってください。

乾燥すると色が濃く仕上がりますので、乾燥させながら仕上がりの色を調整してください。

ローラー塗りとの境目も色が重なると濃くなりますので、塗り継ぎ部分をぼかすように処理をしながら塗布してください。

6. 使用上の注意

テープ類は塗膜が剥がれる可能性があるので貼らないでください。

※テープを貼る必要がある場合は弱粘着性のテープを使用し、慎重に剥がしてください。

毛染め液やアルコール、薬品等をこぼした時はシミが残る場合があります。

7. 清掃について

油污れ等は中性または弱アルカリ性洗剤で拭き取ってください。

漂白剤・溶剤・ポリッシャーでの清掃は剥離の原因となるため避けてください。

8. タッチアップについて

傷付いた箇所、剥がれた箇所はトナーを添加したトップコートを使い補修できます。

補修箇所とその周辺をサンドペーパーで擦り、清掃します。

補修箇所にトナーを添加したトップコートを刷毛でタッチアップし、余剰分をウエスでふき取りながら、周辺をぼかす様に仕上げます。

仕上がりの濃さを確認し、薄ければタッチアップ、ふき取りを繰り返します。

全体を再塗装する場合は清掃後、トップコートを塗装してください。

詳しくは弊社 HP のメンテナンス動画をご参照ください。